

ウイルス学的抑制が得られている患者に対する切り替え戦略に関する原則^{1,2}

- 目標は、将来の治療選択肢を脅かすことなくウイルス学的抑制を維持すること
- これまでに投与されたすべてのARVによる治療歴をレビュー（ウイルス学的反応、耐性検査結果およびARVの忍容性、毒性、有害反応）
 - 多剤耐性HIV感染の既往歴がある患者の場合は専門家に相談する。
- 新しいARVとの薬物相互作用の可能性を評価
- HBV重感染および妊娠の可能性を考慮
 - TDFまたはTAFの中止によりHBVの再活性化が生じる場合がある。
- 切り替え後、最初の3カ月間は慎重にモニターする。
 - 4週目にウイルス量を確認することが推奨されている。